東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
男子部
新宿区柏木4～600
TEL (37) 2311
女子部
台東区上野桜木町31
TEL (82) 4004
発行人　小林数夫

雨の中の体育祭
新企画もお流れ

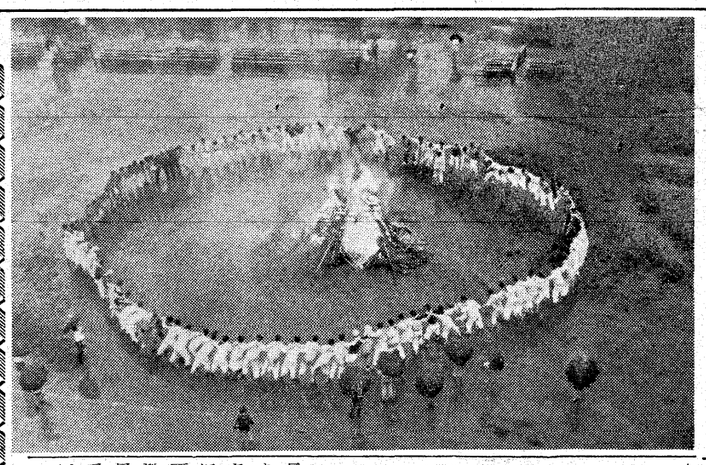
▽……第六回を迎えた体育祭は、六月十日男子部グランドで行われた。前夜の雨もやみ、曇天ながらグラン……▲
▽……ドコンディションは上々であった。午後になって雨が降りだし、一時競技を中断、三十分後小雨にな……▲
▽……り競技は再開されたが、雨は激しくなった。運営委員長はプログラムを変更して暮れてゆくグランド……▲
▽……でファイアストームを囲んだ一部の学生、体育祭関係者により〝タニシ踊〟が行われ、それが終つ……▲
▽……てから参加者の歓声は雨に煙る柏の森に響きわたり四時半終了した。

予定より三十分遅れ、九時半開会式が行われた。開会宣言、学長挨拶、女子部部長、運営委員長挨拶、競技についての注意があり、式は活気のないままに終つた。次いで第一部のクラス対抗各競技決勝が行われた。特に女子部の決勝には、出場チームのクラスの人達の応援男子の特別応援がありなごやかであつた。各選手とも勝利を度外視して楽しそうにゲームを行つていた。教職員のゲームには、珍プレーが続出、得意の黄色い歓声を送り、日頃の先生のむづかしそうな顔もほころび、無中にゲームを行つていた。一方男子部の試合は一年の活躍で低調を救つていた第二部は、全員が集合して早乙女式準備体操に始つた。変化のある体操に皆ばらばら、調子の合わせにくい体操だつた。競技は男子二百米予選から始められ先づ呼び物のマラソンが大久保～小滝橋～東中野を回る四千余米のコースで行われた、今回は初めて入賞者にビールやメダル、参加者にパンと牛乳が出るというので参加者は意外に多く、日頃トレーニングをしているワンダーフォーゲル部の二十五名、ユニホーム姿のラクビー部山岳部其の他クラブ所属者の多数に上つた。多数の参加によつてペースは遅れ、馬力を必要とする山岳部の新部者が優勝した。プログラムを気にしながら一時五分を待つていた人々は、「フォークダンスが始まりますから皆様お集り下さい」のアナウンスにグランドに集つた。普段顔を合わせぬ男女学生がこの時とばかりなごやかに楽しくグランドを一周二周と踊つていた。なかには一回目の手本を見てからと二回目に期している人も多数あつた。

最大の呼び物〝仮装行列〟は東薬独自の物ばなかつたが、庭球部ではテニスの先輩皇太子御成婚にあやかつて〝ブームの中のブーム〟馬車に乗つた皇太子を見れば皇太子殿に似ているという。審査員も寡欲甲し上げて、庭球部に栄冠を送つた。他に生研の民謡も練習の成果があがり、新しい境地を見せてくれた。

競技も半ばをすぎる頃、雨が降り出し、雨にも負けず一年生女子は応援席に赤や青の傘をさし、アナウンスのあるまでそこを退らなかつたのは印象的だつた。それに反し他の学年の学生は、せつかく作つた応援席に朝からいなかつたのは淋しい風景だつた。一部学生のみの体育祭とならないようにするため学生の積極的な参加が望まれている。

（雨の中のファイヤストーム）



高木君（三）に決定
執行委員長
自治会活動軌道に

高木執行委員長

昭和三十四年度男子部執行委員長選挙は二月九日の選挙告示に始まつたが立候補のないまま新年度を迎えてしまつた。記念祭を来年にひかえ、その準備に支障か、と憂慮されていたが、各方面からの激しい内面工作の結果、五月十二日に到つて高木弘也君が立候補を受諾、十八日に信任投票が学年別に行われた。投票結果は

	投票総数	三八七
	信任	三六四
	不信任	一三
	無効	一〇

多数の信任を得た高木委員長は直ちに執行委員の構成にとりかかり、五月二十二日第一回自治委員会に於いて承認され次のように決定した。

執行委員長	高木弘也（三）	新田泰男（二）
副執行委員長	若林清重（三）	滝沢肇（三）
〃	松山陽太郎（三）	山田泰司（三）
書記	山口英朗（三）	今川義明（三）
会計	増井厚和（三）	富田章（三）
庶務	高木昇司（三）	厚生
出版	高瀬肇夫（三）	薬連
調査	平山栄蔵（二）	学術部長
		体育部長
		文化部長

発足した高木委員会はクラブ活動を始め自治活動に支障をきたしていた予算案の審議に着手した。高木委員会の今後の方針は来年にひかえた本学八十周年記念祭の準備に総力を挙げるとのことで、この為総じて対外活動は消極的になると見られている。行事は例年通り文化祭（十一月六日）、学術研究発表会が予定されており、その他学内に於ける学生々活の向上も計画立案され、今後の活躍が期待されている。

高木執行委員長の話

「我こそは」という人が無いばかりに、執行委員長の人選難は年中行事の一つになり兼ねません。とうとう自治会と没交渉だつた私にお鉢が来てしまいました。

「自信は後から作るもの」といわれとに角「やらなければならない仕事」に皆さんと一緒にぶつかつてみる事にし、スタートを切つたわけです。

まず仕事に追掛けられている段階で仕事の目的、信条をはつきり述べられませんが、一応次の事項に沿つて行動したいと思います。

一、本学創立八十周年記念行事の下準備に特に力を入れる事。（八十周年は明年ですが、下準備の第ゥんどは今年の執行委員会の仕事になります。）
一、対外活動は昨年より手をひろげない事。（特に政治的活動には原則としてタッチしない事。）
一、学校側と学生側の相互の理解を深める為の交流を行う事。（月に二度学校側との懇談会と、学生同志の雑談会を交互に行う事など。）
一、学友会その他の学生に自治会室をしばし利用してもらう事。（現在まだ貸出しの整備題に掛つていますが整理のつき次第、使用後の仕末をきちんとしてもらう事等を前提として自治会室を開放したいと思います。）

といつたわけですが、まだまだ不備の点が沢山あります。お気付きの所がありましたらどんどん申し出て、自治会の向上に御協力願いたいと思います。よろしくお願い致します。

六日に学生大会

本学男子部では来月六日に前期学生大会を行う予定である。尚議題は

一、前年度決算について
一、新執行委員紹介
一、薬学祭テーマについて
一、盗難問題について
一、学年別旅行について
一、図書館新築工事に伴う運動場の狭小問題について
一、寮設置について
一、実験衣の落書について
一、廊下の清掃について

今日講演とスライド会
手塚（大東）・山田（橋一）両氏を迎えて

本日27日（土）一時より、男子部執行委員会、新聞会共催の講演とスライド会が行なわれる。講演は、東大教授手塚富雄氏の「文学と文化」と題するものであり、一時より、男子部講堂において行われる。又スライドは、昨年ヨーロッパに留学された山田欽一氏が、在欧中に写されたカラースライドを氏の好意により披露するものである。二時半より第二教室。尚山田氏は、本学講師、一橋大教授並びに学生課長をしておられる。一般学生並びに学校関係者多数の御出席を御願いします。

主催　執行委員会・新聞会

盗難ひんぱん
男子部

このところ男子部では盗難事件がひんぱんと起つている。被害をこうむつたのはもつぱら寮の各クラブであり、学生課では各クラブに管理を特に厳重にするよう要望している。

男子部、予算決定す

スタートの遅れた高木委員会は執行委員決定後ちに予算委員会を招集、六月一日から本年度予算案の審議にとりかかつた。審議は二週間にわたり、十七日の体育部決定をもつて別項の予算案がなり二十日自治委員会の承認を得て正式に成立した。

次に予算成立迄の経過は

六月一日　執行部二〇〇、〇〇〇円に決定
六月二日　新聞会八一、五〇〇円に決定　従つて学友会三部予算は三八四、一〇〇円
六月三、四日　学友会三部内の割当が
　体育部　二〇八、七〇〇円
　学術部　九一、八〇〇円
　文化部　八三、六〇〇円

に決定　この後三部門に分れて各部請求案をもとに割当が審議された。その結果学術、文化両部は十日に、体育部は十七日に決定ここに予算案は成つた。

六月二十日、自治委員会の承認を得て正式に成立した。

尚収入は新入生入会金（一、〇〇〇円）及び在校生自治会費（八〇〇〇円）で総額六六五、六〇〇円である。

今年度予算で目につくのは、例年に較べて文化部が増えている。これは昨年同好会から昇格したWV部が文化部に属して予算を獲得した為である。他に新聞会が大幅に減額されたのが、他のクラブとは別扱いだけに注目される

東薬戯評
嫌名漢字

タニシ殿、タニシ殿……

薬味

執行委員長もやつと決り四十日間の自治会活動のブランクに終止符をうつた。一体本学の学生は団結力に乏しい。皆で我等の学校を立派にしようと言う意気が見られない。▼覇気が足りない。教育の目的が個人の完成・人格の完成にあることはもちろんである。しかも社会性のかん養もその優なる目的に数えられるはずである。大学生活での共同意識、連帯意識がこのように低いのであれば、社会に出てからのそれが低いということはいとべく当然のことであろう。同じ私立薬科大学でも東北薬科大学の学生のように、学生会長の立候補者が三名も四名もいるのと較べて見ると、本学の場合の無気力さが痛感される。▼先頃の参議院議員選挙の何日か前に日薬の理事が本学におもむいた。実習をつぶして学校側は迎え、フィーザーの有機実験の映画を合せて上映した。学生はそれぞれの気持で氏の話をききそして映画を見たであろう。同じく東北薬大でも日薬の一人を迎えて「一つおねがいがあるんですが……」とはじまつた。▼反響は意外にひろがつた。学生達のこの学校側のやり方に対する抗議文が作成された。そして学長に面して、この度の映画際してとつた学校側の態度はしからん……云々と抗議しついに学長が頭をさげたという。東薬の場合どうであろう。でく一部にあの選挙キスターを貼りつけたことに対する不満をもら人をみただけである。▼このことだけから見ても東薬生は余りにも秦然自若としすぎているように見える。自分の考えは自分で消化して行くと言うこともちろん良い。だが若い人は若人らしく何事においてもちろん少し若さの発露があつてこそ若人としての価値があるのじゃないだろうか。しなびた若者に残るものは唯未熟という危険性のみである。▼このことが直接社会に出てからの我々の社会的地位という問題につながつている医師会の団結力に対し得るには個々薬剤師ががつちりと地固めをして、同志でスクラムを組む以外にはない。薬業界がいま転期にあるだけに高野一夫氏によせる期待も非常に大きいけれども彼を後だてするのは我々なのである。

卒業生との懇談会開かる
執行部主催

六月十二日女子部で卒業生との懇談会が開われた。その時先輩より言われた言葉を拾つて見よう。

面接ではやわらかく対する人を選ぶので対人関係をうまくしてよい感じを与える事が大切である。特に女子部の態度は冷たい感じだといわれる。就職する場合は自分に適した意欲のある仕事をよく考える事また応用方面を研究するために研究所に行く事も大切である。学校の機械類は見ておく事。その他特技をもつ事もよい。たとえばタイプ等、何でもよいから自分でやつたという自信をもつ事が必要である。

特に四年生に要望する事は卒業試験問題補講をやつた方がよい。今の傾向では時期はずれの感じがする……。なんなどであり盛会裡に八時過ぎ閉会した。

論説
自治会の使命と我々の進むべき道

永い間空白状態であつた男子部執行委員長の座も五月一八日ようやく決定した。男子部執行委員長の就任をもつて男女両部の執行委員会は組織され正常な自治活動が開始した。今回の如く執行委員長決定が遅れてしまつたことはそれだけ我々にとつてマイナスとなつたことはいがめぬ事実である。それもすべて学生全体の責任にある。学生の自治活動に関する無関心の一語に尽きると思う。信任投票の結果をみてもその低調の程がうかがえる。これは常に指摘され批判されているにもかゝわらず一向に改められていない。このようなことは学生全体が一体となつて考えるべき問題であると思う。本学学生はとかくこのような政治的な思考要素に欠けるのではないだろうか。もつと我々は視野を広く持つ必要はないだろうか。

現在我国の政治問題の焦点は砂川問題の違憲か合憲かの判決に関する是否、並びに砂川判決に関連した安保条約改定の問題である。砂川判決に対する検察側の趣意書の提出も、又米軍駐留を違憲とする伊達裁判長の判決もすべてこれは憲法第九条の解決問題から発するものである。自衛隊の合憲もそのまゝ認めることになり、憲法九条は無意味となつてしまう。憲法解釈に臨み、その解釈の方法は常に客観性をもつて、こじつけや理屈を付すことなく純粋な立場にあつて行うことが憲法精神を十分に発揮できるものであると思う憲法に規定された我々の平和と人権の保障というものが単なる多数決によつて外国との政治的な条約によつて損なわれるようなことがあつてはならない。我々は原砂川判決と上告趣意書とをよく見較べいづれが正統なる解釈をもつて行つたものであるかを十分に検討してみる必要がある。最高裁の裁判官というものゝ性質をよく見、それが最高の判決者でないということをよく銘じておく必要がある。これらの判決に対する判定権はすべて我々にあるということを忘れてはならない。

次に安保条約改正の問題としても、いづれのものが我々の生活を安全に保障し、より平和主義的なものであるかをよく考え、一国民としての立派な態度を示していただきたい。

我々の自治活動においても自治項目の最終判定者は我々であるということを自覚し、自治の運営を常に見守り、それに協力してゆく必要がある。

各自がサークル治動を一生懸命行うにしても自治会が存在しなくてはどうにもならないのである。自治会とサークル活動とは直結した一本の線となつているものでなくてはならない。学生会なるものが活発であるからこそサークル活動も活発に行いうるのである。

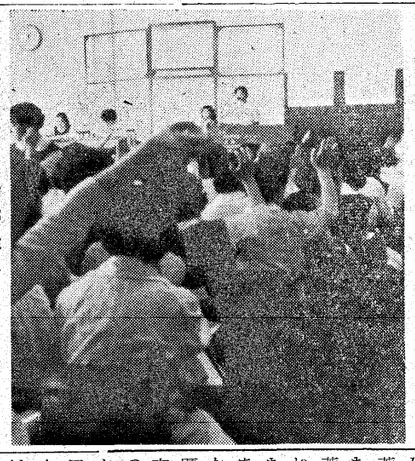
両部新執行委員長の当面する問題は非常に多い。まず昨年度より改革せられつゝある学内或いは対外的な諸問題を各方面より研究し、より充実したものとする必要がある。そして大学当局ともよく連携し、教授と学生の意見、提案を常に交換し、教授と学生との連絡をより緊密にすべきであるそのような点、昨年度男子部で開催された教授と学生との懇談会などはその意見の交換において意義あるものであつた。

次により大きな課題として来年度開催される予定の本学創立八十周年記念祭に関する諸問題がある。これは即刻に準備委員会なるものを作り、より具体的な方針を今のうちから建て、間近に迫つてから問題の起らないよう極力努めるべきである。

又本年度の学術部の研究発表の方法並びに形式に関することも予算その他において学術部当局と直接話し合う必要がある。昨年度における学術研究発表会なる形式も時間的束縛とあまりにも専門的すぎたゝめ学生間においてもあまり評判がよくない又学術部長会議においても学生の研究発表方法としては意義の薄れるものであるという意味が多分に見られた。これも学術の内情をよくみて何らかの形に改善する必要があるのではなかろうか。

といなく時間の経つのは速い、早くから万端怠りなく準備を進めその時になつて方事に支障のないよう強く願う次第である。

スムースに予算案通過
女子部　学生総会開かる



写真は女子部総会

五月二十九日、十二時三〇分より、女子部講堂に於て定例学生総会が行われた。予定時刻を十分経過後、定員キリキリの二九〇名が集り、低調な中に開会された。

議長、副議長には二年の矢野、松本さんが承認され総会が運営された。検討された議題は、

一、監査委員の承認
一、前年度決算及び前年度文化祭決算報告
一、今年度予算案報告及び承認
一、前年度活動報告
一、今年度活動方針
一、一般動議、一般質問についての討論

以上六つであり、総て大多数の賛成を以つて無事承認された。

本総会のやまである、今年度の学友会三部の予算は

学術部、一〇二、八一〇円
体育部、一〇五、〇五〇円
文化部、九三、六五〇円

以上の如く決定された。

最後に、「学生総会にもつと時を掛けられる様学校に要請して欲しい」という動議が出され、これについて本総会中最も活発に意見が出された。この事は何といつても学生間に強く疑問を持たれている証拠であろう。全校生徒が集まり意見交換を行い、自治会にその意志を反映させる唯一の機会、学生総会のために、午後あるいは午前の授業時間を解放して貰つたらどうか、しかし、常に低調な総会を考慮して、授業時間をつぶせば時間は生まれても、集まる人が少くなるのではないか、という心配がある。各々改良の必要は感じている様に思われるが、学校側への要請を達成するためにも、学生総会をより充実させるためにも、まず望まれる事は、各自がもつと責任をもつて自分達の学生総会にする様努力することである。以上が討論の大略である。採決の結果、この議題は却下され、一時十分を以つて、三十四年度前期定例学生総会は閉会された。

男子部 83.8％　女子部 88.6％
第十七回国試（学説）合格者発表さる
全国平均昨年より上回る

厚生省薬務局は去る四月三日に行われた第十七回薬剤師国家試験学説試験の合格者名を五月二十日発表した。これによると今回の学説試験は出願者三四二七、受験者三三六四、そのうち合格者は二四八四で合格率は七三、八％となつており昨年四月に実施された第十五回学説試験の合格率七二％に較べてやゝ上回つている。

本学の場合は、男子部八三、八％、女子部八八、六％となつている。尚男子部は三一年度以前の卒業者の合格率を入れると七五、五％となる。女子部には所謂浪人の数は極めて少数であるので前記の数値には大差ない。此れは前年度の合格率男子部八七、二％女子部八九、四％に較べるとかなり下回つた事を示している。尚女子部としては九〇％を割つたのは始めてである。他の薬科大学及薬学部の成績は東邦大学薬学部七七、七％星薬科大学八〇、四％、昭和薬科大学七六、三％である。

尚、第十六回薬剤師国家試験実地試験は七月十一、十二日に全国八ケ所で実施される。科目は分析化学と薬剤学の二科目となつている。

ペニシリン療法は安全な
内服用ペニシリンで！
ピリペニ散の4大特徴
(1) 注射に比べ安全である。
(2)「口内テスト錠」が無償で得られ、必要に応じ簡単にテストが出来る
(3) 注射と同様の効果が得られる。
(4) 廉価の為、社会保険に於ては特に推奨されている。
社会保険全面適用
薬価基準 20万単位 37円70銭
日英米特許
25瓦(錠)
100瓦(錠)
500瓦(錠)
文献試供品進呈
注射と同じ効果のある！
ピリペニ散・錠
東京都千代田区丸ノ内一丁目六番地 海上ビル新館　日本化薬株式会社　大阪・福岡・札幌

水虫の治療に福音
日本の医
抗かび性新抗生物質
バリオチンの製剤化
毒性がなく、有効
臨床報告
医薬新報4月20日号掲載
話題の水虫薬
バリオチン液 新発売
バリオチンは昭和26年東大応微研が軽井沢の土壌中より発見したペシロマイセス属の黴が産生する世界中に類例のない抗黴抗生物質であります。
臨床治験は全国18大病院で実施し汗泡状白癬83％頑癬84.5％の好成績を示し特に従来の水銀製剤と異り副作用が殆どないことは医療界の注目を集めて居り殊に副作用の関係から水銀製剤が使用されない欧米に於て此の点を高く評価されています。
これについては既に朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、週刊朝日、朝日ジャーナル、科学読売、ジャパンタイムス、中部日本新聞、北海道新聞　等北は北海道より南は鹿児島に至る全国20数紙の新聞その他に記事として普く報道されている処であります。
此の度治療界の要望と激励に応え種々の困難を克服して少量乍ら今夏上市致しました次第何卒御試用下され度御願申上げます。
B価一五〇円
A価二〇〇円
10cc
日本化薬株式会社
東京都千代田区丸の内1の6 海上ビル新館

分析化学討論会を顧みて

目立つ赤外線分析の研究

深間内久雄

五月二十一（木）二十二（金）二十三（土）日の三日間にわたって、日本分析化学会、日本分光学会、日本薬学会共同三機の学術講演討論会が女子部の講堂と第一教室において催された。この種の相当に大がかりなしかも学問的にも実際上にも重要なテーマを盛った学会が催されたことは女子部はかりでなく東薬としても初めてのことであって大いに記念すべきことというてよい。この企画の可能性について、阪本教授を通して初めて相談があったのは二月十四日である。その際にこれは女子部にとっては得難い機会であると感じたので私はただちに賛意を表し、寺阪部長も同じ意見であったのでこの旨がこの企ての中枢である分析化学会に回答され、そのときの分析化学会長石館東大教授から寺阪女子部長あての正式の申込があり分析化学会ではその機関誌「分析化学」三月号にこの計画を発表し演題を募集した。さらに三月二十七日に分析化学会理事田村東大助教授からこの学会に化学器械の展示会を併存したい意向が分析化学会にあって、メーカー側もかなり乗り気であるが、場所があるだろうかとの相談を受けた。そこで、学生控室をこれにあてることとし、四月一日に京都大学工学部で行われた分析化学会第八回総会のあとの常議員会でこのことが正式に決定された。初め展示会に参加を希望したのは三十数社であったので学生控室の二分の一ぐらいを使えば充分であろうとのことであったが、会期が迫るにつれてメーカー側の熱意が盛り上り、ついに参加四十八社に達したので会室を使用することとなり、いわば分科会といってもいいくらい学会にしてはめずらしい大規模な展示会となった。五月十三日に分析化学会理事永原食料研究所分析部長そのほかの方が見えて、会場の準備や会の運営についての方針が最終的に定められた。

五月十九（火）、二十（水）の両日は好天気に恵まれ、講演会場、展示会場の準備も順調に進み展示用器械を持ち込むトラックや乗用車の群れが桜木町の住人たちを驚かした。その前の十八、十九、二十の三日間にわたって、丸の内の産経会館で分析化学会その他の共同で催されたスペクトロメトリー講習会の参加者約百名が、二十日の午後には早くも展示会場を訪れ、熱心に見学している姿が見られた。

二十一日も快晴で、朝早くから三階の廊下は、討論会参加を申込む人、ビラやスライドを受付に出す人、講演要旨やプログラムを求める人、書店の売店などでゴソゴソ返し、どこの学会にも見られる風景が展開したのも女子部としてはめずらしいことである。この日は第一会場（講堂）では元素分析部会が行われ、本学阪本教授と東大薬学部中央分析室および乙卯研究所の諸氏による酸素定量法に関連する研究、京大農学部三井教授らによる液体試料の元素分析に関連する研究、東大薬学部石館教授らによる高周波直示天秤の興作に関する研究など、十二演題について発表討論が終日続けられた。又第二会場（第二教室）ではエックス線分析部会があって、たくさんの演題のうちには日本金属玩具検査協会松岡寿人氏らによる蛍光分析エックス線による金属玩具用塗料中の鉛の定量というような実際面から注目すべき発表があった。この日討論会のあとで元素分析班の懇親会が二階生物学実習室で催され、期せずして我が国最高の元素分析技術者が一堂に会し、おでん酒、ジュースなどで日頃の労苦を忘れ、たがいの健康を祝したのである。参会者の中には女子部出身者そのほかの女性もかなりあって、きびしい討論会とは打って変ってなごやかな賑やかなひと時であった。

二十二日は第一会場は核磁気共鳴、放射化、吸光度、ガスクロマト、ポーラログラフ各分析部会に当てられ、第二会場では発光分光分析部会の発表討論会（コニウム分析研究懇談会）による発光方法に関するパネルディスカッション（定員討論会）があった。この日の第一会場の演題にはウラニウム分析委員会宗雲東大名誉教授らによるウラン中の不純物の定量法に関する研究のような極めて注目すべきものがあった。これは原子燃料公社、日本原子力研究所東大工学部、名大工学部において、試料中の微量不純成分のうち、ウラン金属の同一試料数種について、試料中の微量のアルミニウム、ホウ素、カドミウムを定量した結果を持ち寄って発表し、各研究所で採用した分析過程の優劣、分析結果の信頼度などについて検討、討論するのである。金属ウランの分析が急を要する問題であるだけに昼食時間をも忘れて熱心な討議が続けられた。又ある部会では休けい無しに討論を続けてしまったため、散会したときは夕方遅くなり、女子部学生の授業も実習もすっかりすんでしまって、せっかく女子薬科大学の実態を多少なりとも観察できることを期待して来た会員から、司会者がひとくうまれたというようなエピソードもある。各部会とも予想外に盛会であって、講演要旨は二日目に売り切れとなり、三日目に初めて来た人は講演要旨が手に入らないのを歎いていた。

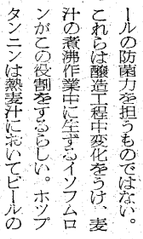
三日目の二十三日は、第二会場では光分光学会の総会と討論会が終日行われ、第二会場では午前中赤外線分析部会、午後学術映画があった。赤外線部会には、国立衛生試験所大場塚磨氏らの赤外線吸収スペクトルの医薬品試験への応用『帝国石油手塚真知子氏らの赤外線吸収スペクトルによる原油中のキシレン分の定量』など実際面に触れる発表もあり、赤外線分析の必要性が学問研究の領域ばかりでないことを暗示した。最後の近赤外吸収スペクトルの分析化学への応用と題する特別講演で東大工学部田中誠之氏は、これまであまり用途がないとされていた近赤外線を用いる分析法について、最近の文献を広い範囲にわたって調査した結果を整理して講演され、聴衆に深い感銘を与えた。この日は朝からかなりの雨降りであったが両会場とも満員で、ことに午後の学術映画の観賞には女子部学生も加わったので文字通り立錐の余地もない盛況であった。映画は東大薬学部中央分析室提供のアレーグル式元素分析、赤外分光計操作、群馬大工学部提供の化学分析操作、放射能測定、塩野義製薬提供のアレルギー症、薬学会提供のフィルム「瘍疔（ようちょう）横痃（おうけん）其他のはれもの」「たこの吸出し」（東京 薬学 町田製薬）を観賞したあと、会場は一変して、講演会場に移され、会員は分析技術者が一堂に会し、おでん酒、ジュースなどで日頃の労苦を忘れ、たがいの健康を祝したのである。参会者の中には女子部出身者そのほかの女性もかなりあって、きびしい討論会とは打って変ってなごやかな賑やかなひと時であった。

二十二日は第一会場は核磁気共鳴、放射化、吸光度、ガスクロマト、ポーラログラフ各分析部会に当てられ、第二会場では発光分光分析部会の発表討論会（コニウム分析研究懇談会）による発光方法に関するパネルディスカッション（定員討論会）があった。この日の第一会場の演題にはウラニウム分析委員会宗雲東大名誉教授らによるウラン中の不純物の定量法に関する研究のような極めて注目すべきものがあった。これは原子燃料公社、日本原子力研究所東大工学部、名大工学部において、試料中の微量不純成分のうち、ウラン金属の同一試料数種について発表し、各研究所で採用した分析過程の優劣、分析結果の信頼度などについて検討、討論するのである。金属ウランの分析が急を要する問題であるだけに昼食時間をも忘れて熱心な討議が続けられた。又ある部会では休けい無しに討論を続けてしまったため、散会したときは夕方遅くなり、女子部学生の授業も実習もすっかりすんでしまって、せっかく女子薬科大学の実態を多少なりとも観察できることを期待して来た会員から、司会者がひとくうまれたというようなエピソードもある。各部会とも予想外に盛会であって、講演要旨は二日目に売り切れとなり、三日目に初めて来た人は講演要旨が手に入らないのを歎いていた。

三日目の二十三日は、第二会場では光分光学会の総会と討論会が終日行われ、第二会場では午前中赤外線分析部会、午後学術映画があった。赤外線部会には、国立衛生試験所大場塚磨氏らの赤外線吸収スペクトルの医薬品試験への応用『帝国石油手塚真知子氏らの赤外線吸収スペクトルによる原油中のキシレン分の定量』など実際面に触れる発表もあり、赤外線分析の必要性が学問研究の領域ばかりでないことを暗示した。最後の近赤外吸収スペクトルの分析化学への応用と題する特別講演で東大工学部田中誠之氏は、これまであまり用途がないとされていた近赤外線を用いる分析法について、最近の文献を広い範囲にわたって調査した結果を整理して講演され、聴衆に深い感銘を与えた。この日は朝からかなりの雨降りであったが両会場とも満員で、ことに午後の学術映画の観賞には女子部学生も加わったので文字通り立錐の余地もない盛況であった。映画は東大薬学部中央分析室提供のアレーグル式元素分析、赤外分光計操作、群馬大工学部提供の化学分析操作、放射能測定、塩野義製薬提供のアレルギー症、薬学会提供のフィルム「瘍疔（ようちょう）横痃（おうけん）其他のはれもの」「たこの吸出し」（東京 薬学 町田製薬）を観賞したあと、会場は一変して、講演会場に移され、会員は分析技術者が一堂に会し、おでん酒、ジュースなどで日頃の労苦を忘れ、たがいの健康を祝したのである。参会者の中には女子部出身者そのほかの女性もかなりあって、きびしい討論会とは打って変ってなごやかな賑やかなひと時であった。

二十二日は第一会場は核磁気共鳴、放射化、吸光度、ガスクロマト、ポーラログラフ各分析部会に当てられ、第二会場では発光分光分析部会の発表討論会（コニウム分析研究懇談会）による発光方法に関するパネルディスカッション（定員討論会）があった。この日の第一会場の演題にはウラニウム分析委員会宗雲東大名誉教授らによるウラン中の不純物の定量法に関する研究のような極めて注目すべきものがあった。これは原子燃料公社、日本原子力研究所東大工学部、名大工学部において、試料中の微量不純成分のうち、ウラン金属の同一試料数種について発表し、各研究所で採用した分析過程の優劣、分析結果の信頼度などについて検討、討論するのである。金属ウランの分析が急を要する問題であるだけに昼食時間をも忘れて熱心な討議が続けられた。又ある部会では休けい無しに討論を続けてしまったため、散会したときは夕方遅くなり、女子部学生の授業も実習もすっかりすんでしまって、せっかく女子薬科大学の実態を多少なりとも観察できることを期待して来た会員から、司会者がひとくうまれたというようなエピソードもある。各部会とも予想外に盛会であって、講演要旨は二日目に売り切れとなり、三日目に初めて来た人は講演要旨が手に入らないのを歎いていた。

三日目の二十三日は、第二会場では光分光学会の総会と討論会が終日行われ、第二会場では午前中赤外線分析部会、午後学術映画があった。赤外線部会には、国立衛生試験所大場塚磨氏らの赤外線吸収スペクトルの医薬品試験への応用『帝国石油手塚真知子氏らの赤外線吸収スペクトルによる原油中のキシレン分の定量』など実際面に触れる発表もあり、赤外線分析の必要性が学問研究の領域ばかりでないことを暗示した。最後の近赤外吸収スペクトルの分析化学への応用と題する特別講演で東大工学部田中誠之氏は、これまであまり用途がないとされていた近赤外線を用いる分析法について、最近の文献を広い範囲にわたって調査した結果を整理して講演され、聴衆に深い感銘を与えた。この日は朝からかなりの雨降りであったが両会場とも満員で、ことに午後の学



第十七回国家試験問題（2）

第二十一問　食中毒菌としては、①サルモネラ、②ブドウ球菌、③ボツリヌス菌が主なものであるが、下の記載に該当する菌の番号を解答欄に書きなさい。

▽本菌は化膿菌として知られているが、菌の増殖により毒素を産生し、その毒素は耐熱性である。

▽動物の病原菌となるものが、人間の食中毒菌となる場合があり、動物の排泄物を介して食物が汚染され、食中毒の原因となる。

（女子部分析化学教室教授）

（実）　験ののろまなる事、創立以来と謂れる我等四人、心憎くも同一プラッテを囲み、地下実験室にてモグラ生活を営めり。"一行実験"と時の名言に苦笑しつつも本と試薬棚の間を行ったりつ戻ったりつ、きびしい討論会とは打って変ってなごやかな賑やかなひと時であった。

二十二日は第一会場は核磁気共鳴、放射化、吸光度、ガスクロマト、ポーラログラフ各分析部会に当てられ、第二会場では発光分光分析部会の発表討論会（コニウム分析研究懇談会）による発光方法に関するパネルディスカッション（定員討論会）があった。この日の第一会場の演題にはウラニウム分析委員会宗雲東大名誉教授らによるウラン中の不純物の定量法に関する研究のような極めて注目すべきものがあった。これは原子燃料公社、日本原子力研究所東大工学部、名大工学部において、試料中の微量不純成分のうち、ウラン金属の同一試料数種について発表し、各研究所で採用した分析過程の優劣、分析結果の信頼度などについて検討、討論するのである。金属ウランの分析が急を要する問題であるだけに昼食時間をも忘れて熱心な討議が続けられた。又ある部会では休けい無しに討論を続けてしまったため、散会したときは夕方遅くなり、女子部学生の授業も実習もすっかりすんでしまって、せっかく女子薬科大学の実態を多少なりとも観察できることを期待して来た会員から、司会者がひとくうまれたというようなエピソードもある。各部会とも予想外に盛会であって、講演要旨は二日目に売り切れとなり、三日目に初めて来た人は講演要旨が手に入らないのを歎いていた。

三日目の二十三日は、第二会場では光分光学会の総会と討論会が終日行われ、第二会場では午前中赤外線分析部会、午後学術映画があった。赤外線部会には、国立衛生試験所大場塚磨氏らの赤外線吸収スペクトルの医薬品試験への応用『帝国石油手塚真知子氏らの赤外線吸収スペクトルによる原油中のキシレン分の定量』など実際面に触れる発表もあり、赤外線分析の必要性が学問研究の領域ばかりでないことを暗示した。最後の近赤外吸収スペクトルの分析化学への応用と題する特別講演で東大工学部田中誠之氏は、これまであまり用途がないとされていた近赤外線を用いる分析法について、最近の文献を広い範囲にわたって調査した結果を整理して講演され、聴衆に深い感銘を与えた。この日は朝からかなりの雨降りであったが両会場とも満員で、ことに午後の学

（楽）　にはらく、たのし、がく、それぞれの意があるが、おそらく入試から国試まで薬学生に縁の無いのはらくの方であろう。凡そ楽のない人生など考えられはしない。ところで楽（らく）楽（がく）はさておいて、真に楽（たの）しいとはどういう事だろうか。

現代の我々は刺戟を追い求めてはどうにかして楽しもうとしている。しかし、大いに享楽的時を過すと、その後でやり切れない心の空しさをおぼえるものである。単なる自己の享楽は、一時的にすぎないからである。そこで他を喜ばせる楽しみに目を転じてみたらどうだろうか、それは勿論へつらいや恩恵という形でなく。そのような気さえあれば幾らも機会は有るものである。それが単なる自己満足に陥らない限り、「自分の事はかりでなく、他人の事もかえりみる」ことに最大の楽しみがあることに気がつけば、この世も大いに楽（らく）になるはずであるが……。（四年H・M）

（少）　年老いやすく学成り難く、一寸の光陰軽んずべからずといつた、きびしい生活態度から離れて学ぶ時間を惜しんで遊びに遊び通し学窓を巣立つた人は多い事だろう。人生は長いようで短い、その途中の一塊にすぎない青春時代を、いわば就職の予備校と称せられる大学の授業中は寝り、娯楽特にマージャン、将棋、碁といつた「勝負ごと」に我が頭脳を訓練する人が多い。彼等に言わせれば「日常生活から脱皮して愉快になつてくる。（一年 横山勇夫）

（暑）　わざわざ暑物を着ていなくてはならないだろう。なんて精神分裂症じみたことを考えるのも暑さのせい。

春は眠くなり、猫はねずみを取る事を忘れ、人間は借金のあることを忘れ、時には自分の魂の居所さえ忘れて、正体がなくなるこのこと。眠いのは春と大体きまつている様だが、夏だつて暑さのため春同様、いや春以上眠い。眠いから春と同様の結果になる。故に春の初めに人にお金を貸すと、秋まで返してもらえないことになる。春の初めに貸すのはよそう、というばかなことを考えるのも暑さのせい。

自然を利用できても、征服はできない。太陽は相変らず照りつける。暑中見舞状で暑くなるというわけでもないし、大体この世に生まれてきたために暑いと感じるのだから、運命とあきらめて暑いからという理由の自殺も聞いたことがないからせいぜいお金のかからぬ避暑法を実行することだ。

広い世界に、噛み込んだ云々…」である。これにも一理ある「好きこそ物の上手なれ」で己の全精神をその方面に、俗にいわれる「通人」にならんが為に日夜努力することは尊い業である。ただ学生の間の「好き」を勉強にすればよいのだ、がしかし「大学で中国語のみ覚えて卒業してしまつた」と先輩が苦笑したから話してくれるのを聞くと、自分の将来もこの様になるのかと思うと、はなはだ遺憾なつてくる。（一年 横山勇夫）

百字無題

（三年 山田玲子）

薬咲け薬学（2）

ビール工場

『醸造の世界』ここにも薬系技術者の活動分野がある。いわゆる酒類とはアルコール分一度以上の飲料をいう（酒税法）が、これを製造工程より分けると醗酵法によるもの、蒸溜法によるもの、混成法によるものの三つに大別される。醗酵法にはブドー酒、リンゴ酒などの一般果実酒それにビール、清酒等の醸造が含まれる。蒸溜法ではウイスキー、焼酎、ブランデー、火酒など、混成法では甘味ブドウ酒リキュール、合成清酒などの醸造ができる。

まずタイムリーな所で「ビール」醸造の現場をのぞいて見よう。ビール工場での我々薬系技術者の主なる仕事は醸造、製品工程に含まれる。製造論に入る前にその歴史を簡単にながめて見よう。

ビールの歴史

紀元前数千年ごろにビール製造の技術的胚胎はあった。古代バビロニヤではビールを飲ませる酒場の遺跡が発掘されているし、ビール代を穀物で払うハムラビ法典もあった。古代エジプトではビール醸造法が完全な壁画になって残っている。

ドイツでは八世紀に僧院醸造所ができ十三世紀まで無制限醸造権が与えられた。十四世紀に民間醸造組合が生れ、十六世紀にはビールの黄金時代を画した。さらにパスツールの生物醗酵説、バーリングの醗酵度理論、ハンセンの酵母純粋培養法の研究と相俟つて仕込槽で仕込まれ大きな仕込釜で加熱される。すると麦芽の中のデンプンが分解して糖分に変りアメ湯ができる。朝日ビール吾妻橋工場で薬系唯一人十三年も勤めておられる大野明さん（明薬卒業）はこう語っている。

『この場合大切なのは糖化温度なんです。糖類があるからとにかく雑菌が繁殖しやすい。だからひまさえあれば微生物検査をしている。培養は麦汁でやっています。サラシ粉その他でたえまなく殺菌するわけですが、この微生物管理の他に糖化の度合、収量はヨード反応で検べております』

このアメ湯を濾過して麦の穀皮その他の凝固物を除くと煮詰釜に送られホップが加えられ苦味と芳香がつけられる。それからホップのかすを分離した糖液すなわち麦汁は五度く六度にまで冷却される。これは醗酵槽に移りビール酵母の加入により酵母は盛んに繁殖をはじめる。そして麦汁の糖分はアルコールと炭酸ガスに分解して泡ができる。こうして十日位醗酵させる。『この醗酵がどれ程進んでいるかを検べるのも我々の役目なんです。それには顕微鏡検査をたびたび行ってコウボの活動状況を検べます。麦汁冷却室を無菌状態に保つことも我々の役目です』と大野氏は言う。

ここでできたものは「若いビール」と呼ばれているが、これを貯酒タンクで三ケ月程低温（〇度く一度）で貯蔵すると、二十～三十年間正常な収獲がある。

（二）成分　醸造上重要なのはホップ油、ホップ樹脂、ホップタンニンである。ホップ油はホップの香気成分で主成分はフムレン、ミルセン、リナロール、イソワレリアンサンなどミルセンはホップ油の粘度を増しホップの貯ぞう中の変化に接触的に作用するといわれる。ホップ樹脂は主としてルプリンの中に存しフムロン、コフムロン、アドフムロン、ルプロン、コルプロン、及びフムリノン等がある。フムロン、ルプロンはビール有害菌、Lactbacillusに対し抗菌力を有するが直接製品ビールの防菌力を担うものではない。これらは醸造工程中変化をうけ、麦汁の煮沸作業中に生ずるイソフムロンがこの役割をするらしい。ホップタンニンは熟麦汁に於いてビールのこん濁の原因となる蛋白変性物質と不溶性結合物を造って麦汁からこれを除去する役目をする。

ビールの種類

醗酵方式により下面醗酵ビール、上面醗酵ビールに分ける。前者には濃色ビール（ミュンヘンビール、ニュルンベルクビール他）中等色ビール（ウィーンビール）、淡色ビール（ピルゼンビール、ドルトムントビール）がある。後者にはポーター、スタウト、エール（以上英国）それに独逸でもこの方式で醗酵させるのも多い。日本で醸造しているのはピルゼンビール型の淡色ビールが大部分であり、その他黒ビール、スタウトがある。

× × ×

ビールのつくり方

ビール醸造工程は製麦、醸造、製品と三分される。

〔1〕製麦　ビール用大麦を浸麦槽に入れて二日位水に浸し充分に水を吸収させる。大麦優良の場合は軟水で充分であるが不良大麦に対してはアルカリにとむ水が適当である。水酸イオンは大麦穀皮の有害成分をよく浸出し水の透過、吸収を促す。これを発芽鏈に入れて湿風を麦に送り一四度く二〇度で約八日間おくと緑麦芽ができる。これを乾燥炉（室）で、八〇度く八三度に徐乾する。そうするとビール特有の香りと味が形成される。

〔2〕醸造　乾いた麦芽は粉にして仕込槽でお湯にとかされ大きな仕込釜で加熱される。すると麦芽の中のデンプンが分解して糖分に変りアメ湯ができる。朝日ビール吾妻橋工場で麦系唯一人十三年も勤めておられる大野明さん（明薬卒業）はこう語っている。

『この場合大切なのは糖化温度なんです。糖類があるからとにかく雑菌が繁殖しやすい。だからひまさえあれば微生物検査をしている。培養は麦汁でやっています。サラシ粉その他でたえまなく殺菌するわけですが、この微生物管理の他に糖化の度合、収量はヨード反応で検べております』

このアメ湯を濾過して麦の穀皮その他の凝固物を除くと煮詰釜に送られホップが加えられ苦味と芳香がつけられる。それからホップのかすを分離した糖液すなわち麦汁は五度く六度にまで冷却される。これは醗酵槽に移りビール酵母の加入により酵母は盛んに繁殖をはじめる。そして麦汁の糖分はアルコールと炭酸ガスに分解して泡ができる。こうして十日位醗酵させる。『この醗酵がどれ程進んでいるかを検べるのも我々の役目なんです。それには顕微鏡検査をたびたび行ってコウボの活動状況を検べます。麦汁冷却室を無菌状態に保つことも我々の役目です』と大野氏は言う。

ここでできたものは「若いビール」と呼ばれているが、これを貯酒タンクで三ケ月程低温（〇度く一度）で貯蔵すると、二十～三十年間正常な収獲がある。

（二）成分　醸造上重要なのはホップ油、ホップタンニンである。ホップ油はホップの香気成分で主成分はフムレン、ミルセン、リナロール、イソワレリアンサンなどミルセンはホップ油の粘度を増しホップの貯ぞう中の変化に接触的に作用するといわれる。ホップ樹脂は主としてルプリンの中に存しフムロン、コフムロン、アドフムロン、ルプロン、コルプロン、及びフムリノン等がある。フムロン、ルプロンはビール有害菌、Lactbacillusに対し抗菌力を有するが直接製品ビールの防菌力を担うものではない。これらは醸造工程中変化をうけ、麦汁の煮沸作業中に生ずるイソフムロンがこの役割をするらしい。ホップタンニンは熟麦汁に於いてビールのこん濁の原因となる蛋白変性物質と不溶性結合物を造って麦汁からこれを除去する役目をする。

◇ホップとビール◇

（一）栽培Humulus Lupulus　クワ科の植物で長野、山梨、山形、福島、北海道で栽培される。醸造には未受粉のメンベの発育したものを用いる。

七～八月には九～十二mにもなる。八～九月中旬に毬果を収獲し直ちに熱風乾燥し、水分10～13%にして揮発成分の損失に注意して低温で貯える。二年目に好収あり。毎春株直しをすると二十～三十年間正常な収獲がある。

（二）成分　醸造上重要なのはホップ油、ホップタンニンである。ホップ油はホップの香気成分で主成分はフムレン、ミルセン、リナロール、イソワレリアンサンなどミルセンはホップ油の粘度を増しホップの貯ぞう中の変化に接触的に作用するといわれる。ホップ樹脂は主としてルプリンの中に存しフムロン、コフムロン、アドフムロン、ルプロン、コルプロン、及びフムリノン等がある。フムロン、ルプロンはビール有害菌、Lactbacillusに対し抗菌力を有するが直接製品ビールの防菌力を担うものではない。これらは醸造工程中変化をうけ、麦汁の煮沸作業中に生ずるイソフムロンがこの役割をするらしい。ホップタンニンは熟麦汁に於いてビールのこん濁の原因となる蛋白変性物質と不溶性結合物を造って麦汁からこれを除去する役目をする。

最も重要な微生物管理

農芸化学系が圧倒的

『醸造工程は製麦、醸造、製品と三分される。

〔1〕製麦　ビール用大麦を浸麦槽に入れて二日位水に浸し充分に水を吸収させる。大麦優良の場合は軟水で充分であるが不良大麦に対してはアルカリにとむ水が適当である。水酸イオンは大麦穀皮の有害成分をよく浸出し水の透過、吸収を促す。これを発芽鏈に入れて湿風を麦に送り一四度く二〇度で約八日間おくと緑麦芽ができる。これを乾燥炉（室）で、八〇度く八三度に徐乾する。そうするとビール特有の香りと味が形成される。

〔2〕醸造　乾いた麦芽は粉にして仕込槽でお湯にとかされ大きな仕込釜で加熱される。すると麦芽の中のデンプンが分解して糖分に変りアメ湯ができる。朝日ビール吾妻橋工場で麦系唯一人十三年も勤めておられる大野明さん（明薬卒業）はこう語っている。

『この場合大切なのは糖化温度なんです。糖類があるからとにかく雑菌が繁殖しやすい。だからひまさえあれば微生物検査をしている。培養は麦汁でやっています。サラシ粉その他でたえまなく殺菌するわけですが、この微生物管理の他に糖化の度合、収量はヨード反応で検べております』

このアメ湯を濾過して麦の穀皮その他の凝固物を除くと煮詰釜に送られホップが加えられ苦味と芳香がつけられる。それからホップのかすを分離した糖液すなわち麦汁は五度く六度にまで冷却される。これは醗酵槽に移りビール酵母の加入により酵母は盛んに繁殖をはじめる。そして麦汁の糖分はアルコールと炭酸ガスに分解して泡ができる。こうして十日位醗酵させる。『この醗酵がどれ程進んでいるかを検べるのも我々の役目なんです。それには顕微鏡検査をたびたび行ってコウボの活動状況を検べます。麦汁冷却室を無菌状態に保つことも我々の役目です』と大野氏は言う。

ここでできたものは「若いビール」と呼ばれているが、これを貯酒タンクで三ケ月程低温（〇度く一度）で貯蔵すると、二十～三十年間正常な収獲がある。

（二）成分　醸造上重要なのはホップ油、ホップタンニンである。ホップ油はホップの香気成分で主成分はフムレン、ミルセン、リナロール、イソワレリアンサンなどミルセンはホップ油の粘度を増しホップの貯ぞう中の変化に接触的に作用するといわれる。ホップ樹脂は主としてルプリンの中に存しフムロン、コフムロン、アドフムロン、ルプロン、コルプロン、及びフムリノン等がある。フムロン、ルプロンはビール有害菌、Lactbacillusに対し抗菌力を有するが直接製品ビールの防菌力を担うものではない。これらは醸造工程中変化をうけ、麦汁の煮沸作業中に生ずるイソフムロンがこの役割をするらしい。ホップタンニンは熟麦汁に於いてビールのこん濁の原因となる蛋白変性物質と不溶性結合物を造って麦汁からこれを除去する役目をする。

（ビン詰の細菌検査、ビン詰機の細菌検査、圧搾空気の細菌検査、それに貯水槽の水道の細菌検査をやっています』と微生物管理の重要性を説いている。

それからビールは殺菌されたかどうかを最終的に検査をしてラベルを貼って市場へ出される。

一方短期間に飲まれる分はタル詰して市場に出される。この酵母の活動を停止してないビールを生ビールと呼んでいる。近頃はアルミ製のもできたがビールの回転がおそいとやはり駄目だそうである。

この朝日ビール関係だけでも本学の先輩をたどると、西宮工場製品課長の東晴彦氏、東京支店業務課の京須童氏、仙台支店販売課長代理の星野三郎氏をはじめ大日本ビタミン東京工場には係長の小嶋欣一氏、三宮正浩氏の他に他の薬学技術者も入れて数名いる。

しかし吾妻橋工場に見るごとく農芸化学系技術者六名、薬系一名と断然農芸化学系にしめされている。薬系技術者の職場は狭められつつある。『現在は農芸化学系に圧倒されている。薬系が少いのは会社の新入採用方針が特定校にのみ向けられていることも一つの原因かも知れない。諸君が来るのを待っているよ』と薬系唯一人吾妻橋工場で活躍されている大野氏は言う。薬系技術者の仕事は前述にとどまらない。工場の衛生管理全般に関すること。それに研究室における品質管理の問題や製品の分析……も薬系技術者の現れるのを待っているが。（写真はビン詰殺菌されコンベアで運ばれるビール）

効きめの速い胃腸薬

「中外」のカートン（散薬）

カートンは胃腸を丈夫にし食欲を増し、消化をよくする新しい総合胃腸薬です。十四種類にのぼるカートンの有効成分は現代人に多い胃腸の悩みを一つ一つとり去ります、

総合的な速効

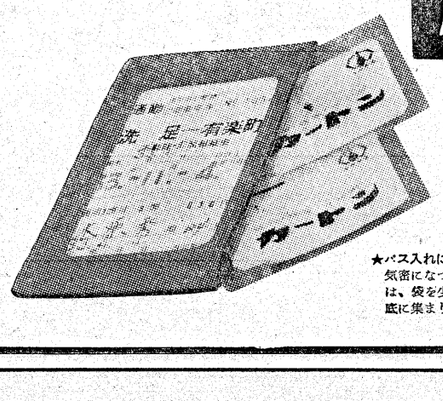
カートンの強力な消化酵素による「消化作用」、胃酸をほどよく調節する「制酸作用」などの効きめは大へんすみやかで、胃痛・胸やけ食欲不振・はきけなど胃腸の不快な症状をサッパリさせます。

味と香りがよい

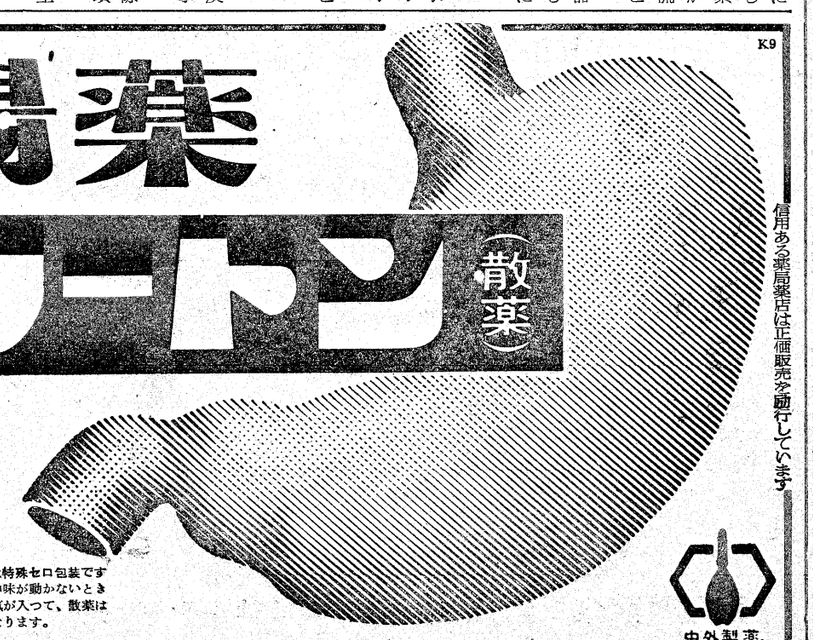
カートンは特有の香りのよさと、さわやかな苦味をもっています。これが食欲をたすけ、胃腸の運動と消化液の分泌をよくします。

一箱　二四包入　一五〇円（改訂価格）

グロンサン製造発売元
中外製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町三ノ三



★パス入れにも入る便利な特殊セロ包装です
気密になっているため中味が動かないときは、袋を少し切れば空気が入って、散薬は底に集まり、のみよくなります。



信用ある薬局薬店は正価販売を励行しています

中外製薬

薬系の活躍分野を語る
社会的地位の向上へ

新聞会では六月十二日（金）、薬学関係の各方面に活躍中のOB、OGを囲んで、薬業界の話題、薬剤師としての心得、その他卒業後の経験を中心に現会員との懇談会を開いた。学生のため、今後の参考になる諸談を要約して記載してみよう。

司会　今晩はお忙しい所、わざわざ出席して頂き有難うございました。これから社会で働いておられる皆さんの経験談なり、いろいろ話して頂いて、在学生に役立たせたいと思います。では最初に、現在どのような職務で働いているか、そういう所からお聞きしたいのですが。

清家（男）　大木製薬に行っています。最初の頃は倉庫の方をやって薬品の名前を覚えさせられ、今は都内の薬局廻りをしています。時には、子供の進学にはどこがよいかなんていう変な注文を受ける事もある。（笑）東薬出身の開局者に出会うと、矢張り親しく口をきく様になる。問屋という所は、一般に学校出を重く見るから得をする事があります。ウチでは四十五名ばかりの外周りがいるが、その毎月の成績がずらりと席順をつけて発表されるから仲間の間で競争意識が烈しい。

田中（女）　ライオン歯磨の研究所にいます。学生時代は微研にいたので、今やっていることに役立ち無駄ではなかったと思っていますが医者、化学をやった人もいて多彩です。薬剤師としての特別な区別とか意識とかいったものはありません。普段は、一研究者という所ですね。現在は虫歯の成因について、種々な学説の検討、研究をしています。新製品の試作とか、自分の手掛けたものは、矢張り製品の売行き、評判なんか気になりますね。

佐藤（女）　エーザイの研究室にいます。私の所では薬理的な面が非常に多く、むしろ会社に入ってもう一度やり直したという感じです。薬学をやって来たということを強く意識すると却って知識の障害に会って、良くないような感じがします。

学生、会社の学術部では薬学分野の語学力を必要としているようですけど。

佐藤　学校では合成・製剤用語が主ですが、私の所では医学用語が圧倒的です。だから、薬理、生化学方面の語学が基礎になりますね。文げんはアメリカ関係が多いようです。

福田（女）　国立予防衛生研究所に勤めています。薬剤師は広く勉強しているので重宝がられていますが待遇は国家公務員試験を受けていないので余りいゝとはいえません。部長級は全部、医学系で占めています。研究室では語学が必要で、今、核酸関係の研究をしているのですが、文げんがチエコ、ソ連あたりからも来ます。またとくに外人に会う機会が多いので英語などは会話ができないと本当に不便です。

薬剤師は女性が多く、大低検定の仕事をしています。所内では勉強不足を感ずるので、仕事の始まる前に集って有機化学反応の実習のようなことをしています。この間は、東薬出身者ばかりで集り、東大の水野教授を招いて、ゼミのようなものを開きましたが、男子部の出席者は三名だけでした。研究所では経済的に恵まれないので男子の進出は少ないようです。

学生　話は違うが、先頃の参議院議員選挙の時、日頃政治に関心のない大学側が、高野氏のビラをはって盛んにPRしていた。これに対して一部の学生から批判が出ているようですが。

西川　しかし、一部の批判はあっても、業界の代表を一人でも送ることが必要だ。薬事法改正問題は高野氏当選で一歩前進したといえるだろう。

司会　乱売についてもっと

西川　現在の業界は重要な岐路に立っている。大阪の薬学大会で会場の隣りに乱売の広告ビラがずらりとはり出されていたのには救いのない気持がしましたね。薬の最先端を行く新薬が乱売されているんだから――

一色（男）　中外製薬の試験課にいます。ここには全部で十五人おりその内一〇人は工業高校の応用化学出で分析関係は全部彼等がやっています。残りの五人が薬剤師で、新製品の試験規格の制定等を主にやっています。いま、会社から派遣されて東大の細菌学教室にいるが、学校でやったことは全部忘れてしまえといわれて、普通薬天培地の作り方から始めている。こゝでは臨床医学的細菌学が主で案外なところによわいようです。この間も、化学天秤の使い方を君から教わりたいと言われた。この教室には薬剤師が研究生として来ているが、やめる人が多いですね。

戸倉　時間的観念のあるものには、プロパーは不向きですね、ところが東薬生にはプロパーを敬遠する傾向がある。

司会　今、大体一日にどの位廻っているのですか？

戸倉　開業医なら、五〜六軒、病院なら二三軒という所。

一色　会社によって成績を発表する所があるが。

戸倉　うちではやっていない。昔は技術師が優遇されたが、今は同じ位だろう。

西川　でもまだプロパーに対する認識が足りないな。世は宣伝時代だというのに。

清家　全く不思議な商売だね。消耗の烈しい広告費という感じもするが。

西川（男）　現在の薬業界は、他社と同じ製品を出していたら、如何にうまく売りさばくかが重要な問題になっている。そんな意味で、プロパーは登竜門になるのではないだろうか。プロパーには職業的劣等感なんかないと思う。

田中　昔はプロパーというと安易な仕事だったが、今はそうではないですね。販売合戦が激しい。

一色　薬学出身者というとすぐ「プロパーか」と聞かれる。

西川　今の状況では、一般人が薬大出をプロパーに結び付けても仕方がない。何といっても商品を売るという時代だからね。何しろ同じサルファ剤が各社から幾つも出ているんだから。

一色　学生時代に聞いたプロパーはセールスマンというか、自分の成績がグラフになると聞いてきた。だから薬剤師だからといって必要なものとは考えていなかった。

戸倉　会社も医者とかみ合わせるにはよい相手だからという考えで採用しているのでないかな。

西川　今の状況では、一般人の人達は自社製品は隅の隅迄よく知っている。ところが他社製品となると何も知らない。

西川　社会に出ると先輩、後輩もない。一対一の商売だ感じがする上役に先輩がいるからとかいうことはないようですね。

戸倉　会社も医者とかみ合わせるにはよい相手だからという考えで採用しているのでないかな。

交科系のプロパーもいるが、その人達は自社製品は隅の隅迄よく知っている。ところが他社製品となると何も知らない。

西川　社会に出ると先輩、後輩もない。一対一の商売だ感じがする上役に先輩がいるからとかいうことはないようですね。

戸倉　会社も医者とかみ合わせるにはよい相手だからという考えで採用しているのでないかな。

交科系のプロパーもいるが、その人達は自社製品は隅の隅迄よく知っている。ところが他社製品となると何も知らない。

西川　今の状況では、一般人の人達は自社製品は隅の隅迄よく知っている。ところが他社製品となると何も知らない。

戸倉　東薬は大量生産だから、珍らしがられなくて損だ。そこへゆくと、日大薬学科ですというと「ほう、そうか」という調子で珍らしがられる。（笑）

しかし体力的な面から考えるとプロパーというのは一生やってゆくような仕事ではないですね。

青家　薬剤師がこの調子で殖えてゆくと二、三十年先にはプロパーの余地がなくなるのではないか。

戸倉　やはり不安だ。

一色　工場を縮少するとき、従業員を整理するような。技術陣は動かさないらしい。

戸倉　技術者が首になると、余程優秀でない限り使い道はないようだ。

西川　プロパーは首になっても拾われる。

戸倉　これも優秀でなければやだめだ。（笑）

西川　今の薬業界を見ると、業者自体が混乱を招いている感じがする。各会社の製品企画が出たらめなんだ。全然企画性がない。新製品が出ると直ぐそれに飛びついたのではないか。その他、会場で各会社のサンプルを観衆が争うように奪っていたのを見たが、人気はもっぱらそっちという感じがした。

ドマーク教授はよかった。とてもしっかり人柄でした。

戸倉　何しろバイエルの研究所長というので、同系会社の気の入れ方は大したものだった。

西川　又来日するそうだね。

福田（女）　薬剤師の地位の向上について私の考えをいゝますと地位の確保という見方もありますがもう一つの社会的向上の仕方として、薬剤師の進出の場をもっと持っていうことが必要じゃないでしょうか。ところが、東薬では生産、自成関係への希望者が少ないと思います。

司会　どうもありがとうございました。

懇談会風景

体育部ニュース

（男子部）

陸上部

去る六月十四日、日大グランドに於て全関東医歯薬獣大学対抗陸上競技大会が行われた。当日は長瀬教授を始め、先輩等の声援を受け、総合成績に於て慶応大学に僅か2.5点の差で優勝をゆずり、総合準優勝となった。

決勝記録は次の通り。

二百米　三位尾崎（大会新）
八百米　五位桶口
千五百米　二位桶口　六位林
五千米　三位桶口　七位林
四百米リレー　三位
槍投　二位風間（大会新）
砲丸投　五位梶山
円盤投　四位渡辺
走高跳　一位飯村（大会タイ）
走幅跳　四位飯村

排球部

学連リーグ戦
対東京外語大（0−2）
対東理大（1−2）
対駒沢大（1−2）
対武蔵工大（0−2）
対武蔵工大（1−2）
対駒沢大（2−1）
対専修大（2−1）
対専修大（2−0）
対東理大（2−1）
対東京外語大（2−1）
三勝七敗で第五位となる

薬連で優勝
一回戦　対東大薬学部（2−0）
二回戦　対星薬大（2−0）
三回戦　対明薬田無（2−0）
決勝戦　対明薬野沢（2−1）

卓球部

関東学生春季リーグ戦（三部）
東薬（3−4）学習院大
東薬（3−4）大正大
東薬（1−4）東大
東薬（4−2）横浜国立大
東薬（2−4）教育大
最下位決定戦
東薬（3−4）
入替戦
東薬（3−4）
全関東理科系学生選手権大会
六月十三日於理科大
優勝　井上、葛西組

柔道部

第八回東京学生柔道優勝大会
六月七日於東京体育館
第一回戦
不戦勝
第二回戦
対立正大（2−5）

野球部

薬連春季トーナメント　第二位
対東北薬大（8−1）
対明薬田無（5−4）
決勝戦
対明薬野沢（4−5）

庭球部

薬連
団体戦　四勝二敗で第二位
対星薬（3−1）
対東邦大B（3−0）
対昭薬（3−1）
対明薬野沢（0−3）
対明薬田無（3−1）
対東邦大A（0−3）
個人戦
準優勝　永沿、田辺組
学連リーグ戦
対水産大（3−2）
対千葉商大（2−3）
対防衛大（2−3）
対工学院大（2−3）
対駒沢大（1−4）
一勝四敗で第四位
練習試合
対中外製薬（5−1）

ラクビー部

対順天堂大（17−19）
対慈恵医大（5−11）
対昭和医大（3−21）
対東邦大医（8−9）

籠球部

練習試合
対日歯大（45−34）
薬連春季トーナメント
対日大医学部（50−78）

（女子部）

卓球部

学連春季リーグ戦
東薬（4−2）日本女子大
東薬（2−4）埼玉大
東薬（0−4）日本短大
東薬（2−4）学芸大

庭球部

薬連
団体戦　Aチーム（優勝）
対明薬（3−1）
対東邦薬（3−1）
対共薬（3−1）
対星薬（3−0）
対田無薬（3−0）
Bチーム（第三位）
対明薬（2−3）
対東邦薬（1−3）
対共薬（3−1）
対星薬（3−0）
対田無薬（3−0）
個人戦　優勝大松・大伴組
学連
対早稲田大（1−2）
対横浜国大（1−2）
対埼玉大（1−2）
対跡見短大（1−2）
対教育大（2−1）
入替戦
対実践短大（1−2）
以上の結果によりおしくも四部に脱落

籠球部

対抗試合
対国学院大
東薬27（15−11、12−9）20　国学院大
対早稲田
東薬28（18−14、10−14）28　早稲田
東薬（2−0）東京女子大
入換戦
東薬（2−0）共立女子大
左記入替戦の結果待望の二部昇格が実現した。
春季薬連バレーボール戦
第一試合
東薬（2−0）共薬
東薬（2−0）実践女子大
東薬（2−0）早大
東薬（2−0）学習院大

排球部

春季女子大学バレーボールリーグ戦
東薬（2−0）共薬
東薬（2−0）実践女子大
東薬（2−0）早大
東薬（2−0）学習院大
第二試合
東薬（2−0）昭薬
準決勝
東薬（2−0）明薬（野沢）
決勝戦
東薬（2−0）共薬
以上の如く東薬は優勝し、十連勝をなしとげた。

卓球部

学連春季リーグ戦
東薬（4−2）日本女子大
東薬（2−4）埼玉大
東薬（0−4）日本短大
東薬（2−4）学芸大

庭球部

薬連
東薬　不戦勝　日大薬学部

意見と提案

今年も国家試験の筆記の結果が発表になった。このところ毎、東薬の合格率が低下するようで、今年は90%をわったとのこと。

先の学校新聞にのった国家試験の問題を見ると、三年の私でも、一度は聞いたことがあるようだなと思う問題が多い。だから試験問題として決してむずかしいのではなく、殆んどが、一度は授業中に聞いたり、実習をしたり、或いは本で読んだりしたことのあるものが出ているのではないだろうか。要は、私達が学校で習ったことを、如何にして完全に自分のものとするかということである。これは、口で云えば簡単なことであるが、実際にはなかなかそういかない。ボヤソとして聞きながしていることがないか。

今年の国家試験に確答が出ず、Aだったかな？それともBだったかしらなどということになってしまう。矢張り何といっても、普段からのたゆまぬ努力と、勉強をつみあげてゆくことが、一番大事だと思う。と云って私は何も学校生活のすべてが、国家試験の為であると考えない。元来そういうような考え方をするのは、大嫌いである。単に技術的な面だけではなく、大学生活には、大学生活を通じてしか得られない、貴重なものが多くあると思う。

クラブを通して得られる交友関係も、社会に出てからの、複雑な利害関係のからみあったようなものと違って、そこには純粋な友達としての交りがある。又クラブ活動にしても、授業で興えられたものを義務としてやる実習とは異り、自分達の出来る範囲で、いろいろと文献を調べ知識を活用して、自由にやれる楽しみがある。

女子部の学生はよく勉強するが、応用がきかないということを、私達は時々耳にする。単に授業で聞いたことをまる暗記したり、本を読んだりするだけでなく、それを如何にうまく、機敏に、実際の場合に応用出来るかということを身につけなければならないのではないだらうかそしてもっと、すべてに融通きく、柔軟性に富んだ人間になることを考えなければならない最後に学校側にお願いしたいことだが、学生達が教室で気持よく勉強出来ているかどうかということに、もうすこし注意をはらっていただきたい。

これは今学年を通して問題になっていることと思うが、よく聞きとれない講義がままある。二三の課目等、後列五列目位からは、ほとんどきこえず、講義をきゝとることだけに神経を集中させて、つかれきってしまうせっかく講義をなさっていらっしゃる先生方には、耳の痛い話かも知れないが、自分だけしゃべって講義がすめばいゝという態度ではなく、話し方、口の聞き方にもよく研究して、学生達が気持よく、落ちついて講義が聴けるように気をくばっていただきたい。（三年　早川細子）

学生のとるべき態度と学校への要望
国試を反省する

東京の騒音
軽視できない精神的障害

東京、九〇〇万人がたむろする東京、このマンモス都市において衛生化学、特に公衆衛生、環境衛生方面の状態は現在どのようなものであるか。このたび新聞会では本学衛生裁判化学教室、並びに衛生裁判化学研究部の協力を得て都内各所における騒音、水質、空気、その他について測定並びに試験を行うことになった。

第一回として六月十六日午後〝東京の騒音〟をたずねて記者は測定班に同行してみた。

交通、産業、文化、科学の発達にともない近代都市の生活環境は堪えることのできない雑音喧騒の極に達している。我々市民の生活は常に焦燥感、騒音のための精神的、肉体的障害の中にあり、これらは決して軽視されることのできないものである。

騒音とは一定の周期と振幅をもたない公衆衛生上民衆に不快な感覚を与える音をいう。この騒音に対し、楽音と称するものがある。これは一定の週期と振幅をもった音で民衆に対し或る程度快感を与えるものである。しかし音の受け入れ方によりその音は騒音にも楽音にもなり得る。即ち音を受け入れる時の個人の精神的状態、受け入れる時の機会、音の強弱、高低などにより騒音とも楽音ともなり得るわけである。

故に騒音とは音が大きいだけではその条件を満すことはできない。即ち、好ましくない音、例えば騒ないとか、気にさわるいというようなものが加味されて、各個人の心理的、生理的な面をも考える必要がある。

日常生活において騒音源となっているものには各種自動車、飛行機、電車、ラジオ、警笛など数えれば きりがない。これらの騒音が如何に都市生活者、特に頭脳労働者を悩まし、その作業能率を低下する原因となっているかは言うまでもない。

騒音の程度には、音の大きさ、基礎騒音の関係、音の発生の時期及び時間、騒音が持続的であるか衝動的であるかなどが関係してくる。従って音の大きさ、高さを正確な意味においても考えることはできないが、実際には構成音の高さや大きさを対象として取扱ってゆくのである。

都の各所の騒音測定結果では国電ガード下の騒音度が最高で新宿駅附近では電車通過時に九五〜一〇五ホンであった。又交叉点では午後六時頃の測定で日比谷交叉点において九〇ホン前後であった。この場合通過各種自動車数は毎分約三〇〇〜三五〇台で最も交通量の多い時間である。その他駅構内では新橋駅で午後七時頃八十ホン前後、上野駅では存在人数約千人で午後八時頃八十五ホン前後であった。又日比谷公園内では七十五ホン程度で意外な高度を示した。

我々耳で聞くことのできる音の振動数は二〇〜二〇〇〇〇C/Sと云われている、しかし実際には一〇〇〇〜四〇〇〇C/Sの音が最も敏感であり、それよりも高くても低くても難聴となる。

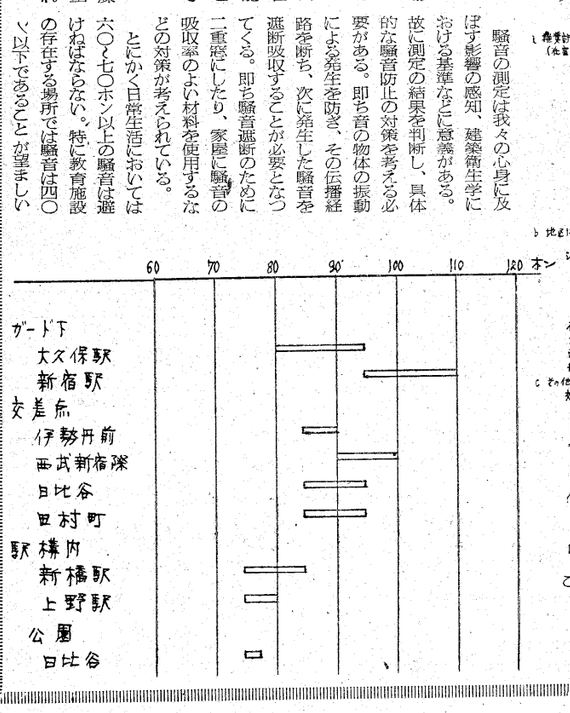
騒音が我々の心身に与える影響は非常に大なるものであり、その結果受ける心身の衛生上の障害も少なからず存在する。

肉体的障害としては①肉体的疲労並びに精神的疲労、②各種作業の能率の低下、③呼吸機能における障害、④神経障害にともなう消化器官障害＝唾液及び胃液分泌の減少、⑤難聴障害、⑥体重減少などが挙げられる。

又精神的な障害としては①焦燥感の発生、②工場作業能率、学童などの睡眠障害などが挙げられる。

騒音の測定は我々の心身に及ぼす影響の感知、建築衛生学における基準などに意義がある。故に測定の結果を判断し、具体的な騒音防止の対策を考える必要がある。即ち音の物体の振動による発生を防ぎ、その伝播経路を断ち、次に発生した騒音を遮断吸収することが必要となってくる。即ち騒音遮断のために二重窓にしたり、家屋に騒音の吸収率のよい材料を使用するなどの対策が考えられている。

とにかく日常生活においては六〇〜七〇ホン以上の騒音は避けねばならない。特に教育施設の存在する場所では騒音は四〇〜以下であることが望ましい



この場合騒音計は日本工業規格JIS（C1502，C1503）検定に合格したものを用い測定方法は日本工業規格JIS騒音測定法による。

日本建築学会設計計画パンフレットより

寝言

「今度は文化祭ね。」
「うん。男子部執行委員もやっときまった。
こゝでしっかり来年度の八十周年に向けても大いにはりきってもらいたいよ。」「それにしても男子部と女子部が離れすぎているね。これから一層任務がはげしくなる一方ね。一、二年の時にはそんなに感じなくても三年になって一応クラブの中心となって活動するようになるとつくづくめんどうくさくなるわ。」
▼「いつも学生間でいわれることだけど桜木ー柏木間専用バスなんて出ないかな。女子部の生徒がバスガールをつとめるというや。」「運転手は男子部学生よ。」
「体育祭も終ったわね。」「うんでも雨で残念だったね。」「ほんと、今年の企画は去年より又一層よかったのに。」「雨の中であれだけやったんだから学生の一部であるにしろ強い協力心のあらわれだよ。」「何がよかったの？」
「ミス東薬コンテストだな」「可愛らしかったわね」「いや可愛いどころか実に美人が出来上ったよ。東薬の男性でさえあれだけ美人になれるんだぞ。女性が美しいなんてのは附属品に負うところ大なりってことがよくわかったさ。」
「今度は文化祭ね。」
「うん。男子部執行委員もやっときまった。
こゝでしっかり来年度の八十周年に向けても大いにはりきってもらいたいよ。」「それにしても男子部と女子部が離れすぎているね。これから一層任務がはげしくなる一方ね。一、二年の時にはそんなに感じなくても三年になって一応クラブの中心となって活動するようになるとつくづくめんどうくさくなるわ。」
▼「いつも学生間でいわれることだけど桜木ー柏木間専用バスなんて出ないかな。女子部の生徒がバスガールをつとめるというや。」「運転手は男子部学生よ。」
運転免許もっている人が交代に無料サービスがいゝわ。」「それじゃあとは車があればいゝわけだね。」「まさにその通り。」
▼「参議員選挙も高野一夫氏当選したね。」「そうね薬剤師の地位向上のためにも大いにはりきってもらいたいわ。」「しかしその他位向上を望む前に薬学生も大いに文句のない実力をつけることだね。薬学っていうのは考えてみれば広くて浅い学問だね。」「医学には医者に頭があがらないし研究所となると化学出身者に占領されて来るし……。」
「だから薬屋の店先に坐っているうんじゃ地位の向上も望めないよ。」
「学生の時に大いに深い実力を養うことね。」「語学力も弱いし……。」「でも日本人は一般に語学力が弱いわね。」
「新聞に出ていたけど一流の政治家が外人を自分の家に招待した時〝There is nothing. Please eat the next room〟っていったそうよ。その外人びっくりしてしまったそうよ。」
「そりゃひどいよ。いくら何もないからってとなりの部屋を食べろとは無理な話よね。」

IWAKI SEIYAKU・MIZUTORI BRAND
●永い経験と厳密な試験●
水鳥印 純良医薬品
☆日本薬局方・国民医薬品集医薬品
☆新薬新製剤・試薬
☆ビタミン・ホルモン・アルカロイド類
製造元　岩城製薬株式会社　本社　東京都中央区日本橋本町4の1
販売元　株式会社岩城商店　出張所　大阪・名古屋・福岡・富山

紳士服と学生服の店
良い生地
良い型……
良い仕立
東薬生・卒業生に
限り1割引・分割
払も致します
東薬大指定
有限会社　岩田洋服店
TEL（36）2533

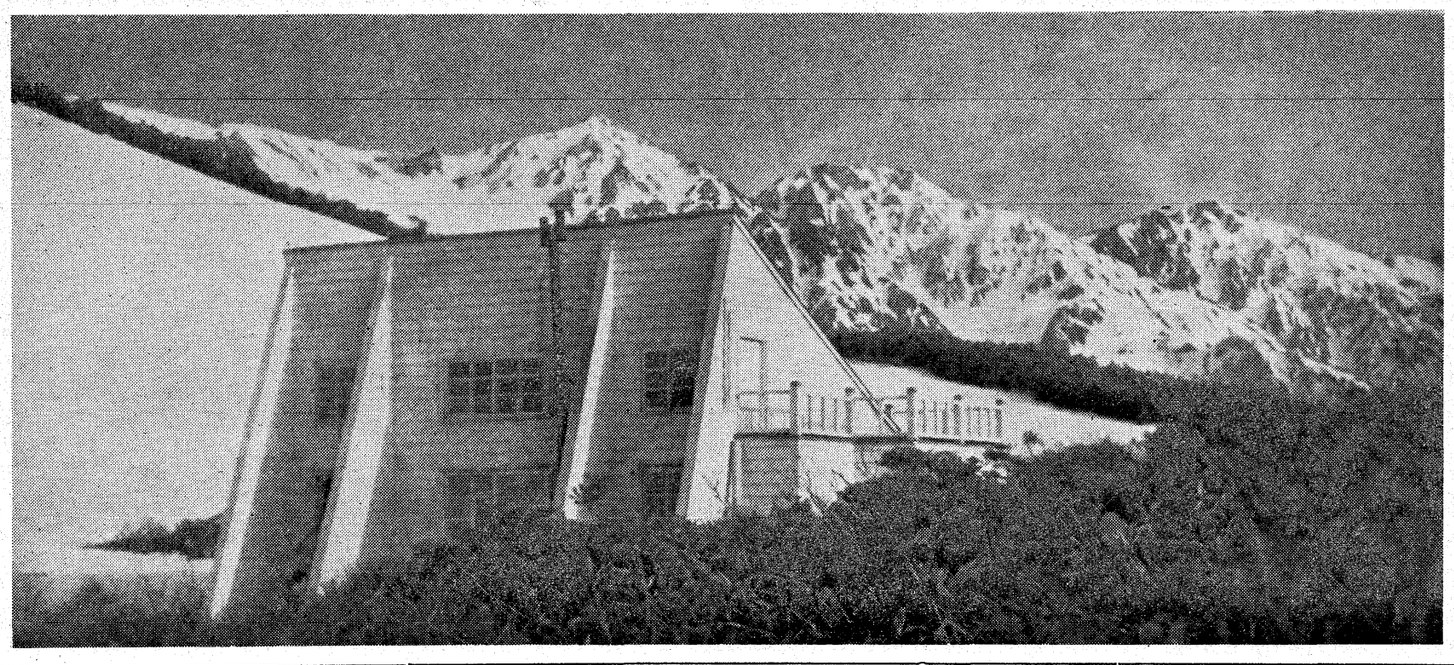
書泉　理工学書部
理工学図書・医薬・農業書・雑誌
●●●●●●●●●●●の専門店
千代田区神田神保町1−3
（29）0071・神田日活前

みんなの健康をまもる…
ウロコ印　武田薬品
総合ビタミン剤
強力パンビタン
30錠（300円）100錠（850円）ほかにミネラル入のM
お子様にはドロップのようにおいしいパンビタンペレー
大阪市東区道修町　武田薬品工業株式会社

黒菱

特集

また夏がきた。都会の騒音とねばねばする空気の重苦しさを逃れて人々は野へ山へ海へとやってくる。
近年とみにふえた登山者の中に黒菱ヒュッテへ向かう一群の男女学生がいた。
東薬ヒュッテは今年で満四年目を迎え、特異なる様式と外装の美しさで訪れる人の目を楽しませている。
ヒュッテの中の楽しい共同生活も窓よりみる白馬連峰の美しさも訪れた人のみの感ずるものである。さあそれでは、人から聞いたり地図を見たりした黒菱への道を一群の男女学生と共に仮想登山しよう。
実際とはかけ離れた登山になるかも知れないがこれも又山の持つ魅力のせいである。



〔写真説明〕春の東薬ヒュッテと左から白馬鑓ケ岳、杓子岳、白馬。

土のかおりがする

朝九時、信濃四谷に降り立つ。夜行の眠さも快よい風とはるかなる山波を仰ぐうちに消し飛んで、新鮮な土のかおりを含んだ空気が気持よい。

〝さあじゃがいもや野菜を買ったら出発だ〟。細野の大谷さん（ヒュッテの管理人）宅で休憩。朝食。皆んな食欲旺盛だ。この分なら一人の落伍者も出ないだろう。

〝さあ、出発だ。〟（足の弱い方は細野からケーブルが出ています。ケーブル終点からヒュッテまでは約30分。料金は百五十円也）

夏の日を浴びて、木々の林、はるかなる山のうねり、緑の岡、咲き競う小さな花……ヒュッテへの道

思いは遥かに飛んでいる。

〝さあ列をくんで、足の弱い人は間に〟肩にくいこむ荷物だが足どりは軽い。しっかりと土に足をつける。普通の道路から左の小路に折れて木々の林に入る。落葉を踏むのも気持よい。

友よ語ろう若い日の幸を皆んなで歌おう青春の歌を……。

水場に着く。〝水をのみすぎない様に、疲れが早くくるし胃を悪くする〟

ここから登りに入る。ヒュッテまでは約5㎞の旅だ。

夏の日をあびて皆んなの顔に汗が光る。なだらかなのぼり、迂回する道、急なのぼり、しばし立ち止まって開けた展望を見る。

〝だいぶのぼったなあ、あそこがあんなに遠くに〟

山道とにらめっこだ

落伍者はいませんか、列を乱してはいけません。さあもう一息だ。これからの登りは少し急だが、駅々として登ろう。

流れ出る汗が身体につたわって土とにらめっこだ。また一歩機械的に足が動く。苦しいからとそがんばるのだ。ひんやりとした風が頬をなぜ、歩いているのが楽しくなつてきた。

先頭が坂をのぼりきつて見晴台に出たようだ。

思わず足が急ぐ。皆んなの口から歓声があがる。「ヤーホー」友は叫ぶ。さあ一休み、流れる汗をふこう。

友よ君の汗にあの頂きが写っている

はるかな尾根、遠く白いハンテンをつけたあの頂きの青さ。

幸せに近づいているような気がする。下の発電所のゴーゴーとした音も尾根に咲く小さな花も皆心よい。〝ヤッホー〟（この言葉元来はSOSの意）頂上の尾根より一人二人……こっちにやってくる。今日帰るグループだ。感激の対面〝後仕末はしてきました。戸棚に残りものですが入っています。それから便所の掃除をおねがいします〟。

日に焼けた顔々しばし談笑、後姿を見送りながら、期待に胸がふくらむ。汗はお身体を伝わるが、まずこの天気に感謝しよう。

紺青の山の下から幕のような雲がわく

＝クリーム色のヒュッテが招く＝

尾根づたいにのぼつて行く。もうすぐとヒュッテだ。途中小屋をそき、うれしさで知らない人にあいさつする。

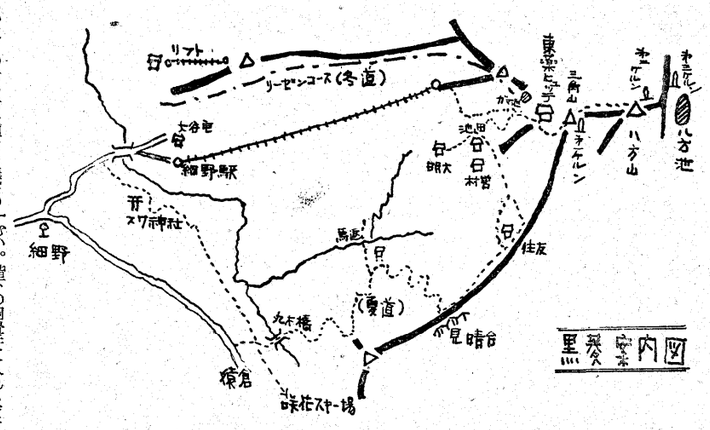
池田小屋を後にしてやがて岩場。岩肌に手がかかる。ひんやりとした硬さ。〝石をこわさないよう。後の人があぶないから。〟ヒュッテへ目前、最後のがんばりだ。緑の芝生に出る。日の前に明るいクリーム色のハイカラな小屋が見える〝あれがヒュッテ⁈〟

一同ヒュッテの中になだれ込む。

〝さあ荷物の整頓をしたら、自由行動です〟

青い青い頂きに白い雪のハンテンが……

僕等は皆外にとびでる。深く山の空気を吸いこむ。



あの遠くの青い青い頂きと残雪の美しさ、晴れわたつた空とわきあがる雲、緑の草むらにすわりこむと自然の親しさがまず胸にくる。谷々を渡るそよかぜに吹かれることがどんなに快よく幸福だろう。僕等は自然にちょう戯するのでなくて自然に融和しにきたのだ。

一人めい想している君、山と話しているのかい、植物を見たり、記念の写真をとつたり皆んなとじゃれわつている。

〝さあもう夕飯の仕度く、女たちは炊事、男たちは水汲み、薪わりだ〟

やがて日も西にかたむいて夕日に山波が美しい。

ヒュッテの煙突からタ餉の煙がのぼつている。食事がすんで、みんなの満足そうな顔が、今さっきつけたランプの光に浮いている。

水汲みに外に出て見た。淡い星の光の中に黒くくっきりと白馬連峰がうかんでいた。

ヒュッテの窓の灯は淡く、窓から漏る空間を見つめている人はホームシックにかかっている様子。

自分も暗闇の中にいると昼とはかわつた自然の冷たさに、さびしさがおそってくる。山小屋の夜はさむい。階下の四畳半に入れるだけ入つて夜の寂しさをゲームや歌でまぎらわす。カウンターでは喫茶店開業夜食にはオムスビがありまく。

ヒュッテ紹介

東薬大ヒュッテは、飛騨山脈後立山山系、八方尾根黒菱平、標高一七〇〇米の地点に在り、総建坪一四・七五坪、近代的センスと風雪に対して力学的考慮を払い、建築も「かたながれ式」という日本の山小屋にも珍らしい様式を採用して岳界に於いて注目を浴び山のガイドブック、冬のスキー案内にも「薬大ヒュッテ」として記載されている。収容人員は約三十人。色は明るいクリーム色で、薪置場便所、台所、食卓、ストーブ並び に隣り四畳半、二階約十二畳よりなる。

昨年度学生の1／4が利用

本学ヒュッテが黒菱平に開設して以来、四季を通じ、冬から春は雄大なスキー場としてスキーに親しみ、夏は植物採集に、そして登山に汗を流し次には紅葉と白銀の峰を仰ぎ新生の気を養い、一般学生に学生生活想出の一つの大きな地位を占めて居ります。それではその利用率を見てみましょう。

山岳部編「東京薬科大学ヒュッテ満三年を迎えて（昭和三十三年）」によると、昨年七月までの利用総数は延宿泊数一六〇九、使用人員七二九、平均宿泊日数一・二二泊となつている。これを一ケ年平均にすると延宿泊数が五三六、使用人数が二四三名となる。

各年間の利用数で見ると年々利用者がふえる一方である。

昭和三十年八月～昭和三十一年七月の利用人数が二二七名、翌年七月までの利用人数が二五三名、翌年七月までの利用人数が二八一名とふえている。

次に季節別にみると七月八月の夏休みには全利用者の六八％が利用している。

又男女別に見ると男子約七〇％、女子約三〇％と女子の利用増加がなおこの数は申込みを行つて使用した者を対象とし、山岳部員及び女子登山部員の利用はふくまない。

朝日に輝く一つのピーク

「鹿島槍岳春山合宿」

山岳部　豊田千歳

年間最後の合宿である春山合宿は下級部員の積雪期登山技術及び雪中生活技術の養成に主眼を置いた、そして早春の鹿島槍岳（二八九九米）を目ざして、八方尾根東薬ヒュッテを根拠地とし極地法で合宿を行つた

◆三月十五日、二十二時四十五分発準急アルプス号に乗車、夜の新宿駅を後にして合宿の第一歩を踏み出した

◆十六日、早朝、大糸南線信濃四ツ谷駅下車、全くの快晴、雪のベールをかぶつた後立山の稜線が朝朝日に白く輝き我々を迎えてくれる、細野部落大谷氏宅で荷物の分配、一人平均十貫、寝不足に快晴が手伝つて全員バテ気味である、それでも持前のスクで白馬ケーブルを右に見ながらリーゼンスラロームコースを登る、雪はふもとにも大分あり、木々も又硬く冬をとざして、渡る風も冷たい、兎平から二時間ようやくヒュッテに着くヒュッテは三分の一程雪にうまり白馬、杓子、鑓ケ岳は白い帽子をすつぽりかぶつてヒュッテから美しく眺められた。

◆十七日、吹雪、合宿用食糧及び用具の荷上げにスキーでリーゼンスラロームコースを快適に下る、一番乗く細野に着いた部員と最後に着いた部員で一時間違う、スキーも雪山には大きな武器の一つだ

◆十八日、曇の時々晴、昨日降つた雪を一歩一歩踏みしめながら唐松まで荷を運ぶ、遠く五竜岳鹿島槍岳がかすんで幻想的に見えた

◆十九日、晴昼寝きよりの吹雪となる、ヒュッテを後にして唐松に益々冬期と少しも変らない

◆二十一日、晴、昨日あれ程猛烈に荒れくるいふぶいたのがうその様に静かに夜があけた。今日は五竜岳までのポジカである。六時唐松出発五竜岳までの道は今までとは異なり注意を要する個所が多かつた。特に手直岳の下り五竜岳の登りは注意を要した。雪面はクラストして、日光に不気味に光つていた、足の下は黒部の谷へと切れて続いている。急な斜面を登り切つて十二時半五竜岳頂上に着いた。前方には鹿島槍岳の女性的な姿がくっきりと浮び、ふりかえると今我々が歩いてきた稜線づたいに唐松岳、その後に白馬がかすんで見えた。五竜岳頂上で昼食、三時半唐松に帰える。

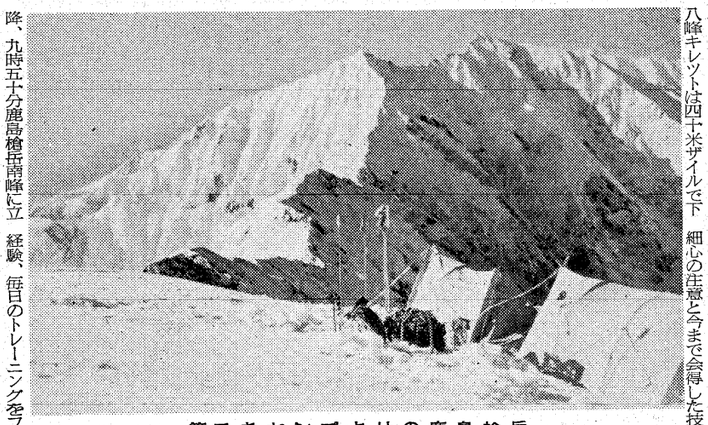
◆二十二日、吹雪、時々風が猛烈に強くなりあられを伴なう、前線の通過らしい。

◆二十三日、吹雪、前日の同様沈吹きたまり一時間もするとテントは雪中に没してしまう、交代でラツセル、張綱の点検と手足をかじかませ、まゆ毛を凍らせ、スコツプをふるつて猛吹雪と戦わねばならなかつた。食糧も量を半分に減らし又ラジオで気象通報を聞いて天気図を作り、食糧係、気象係、装備係一致団結して注意深く行動しアタックに具えた。

◆二十四日、高曇り、天気が回復に向つたので唐松に二人のテントキーパーを残して五竜岳頂上直下に前進キャンプを出した、唐松にテントを張つてから五日目にしてようやく第一のテントを出す事が出来たわけである、ここからの鹿島槍岳は手がとどく程に近く、吊り尾根は目の前にせまつていた。

遠く剣岳、立山が夕日に黒々と、そして雄大なシルエットを見せていた、この日は早目に就床、しかし皆寝袋に入つても眠れない、まもなく、五竜岳三時半、全員三時起床、朝食四時明るくなるのを待つて五時十分テントを飛び出す、モルゲンロートが実にすばらしい、五竜岳にはテントキーパー一人を残し、アタック隊三名、サポート隊二名はピッケルをにぎる手も心強く、軽い足取りで出発。目的の地、鹿島槍岳に続く稜線を思案にたどる、まだ薄暗い稜線にはアイゼンのキュッキュッという音だけが頭に強く響く、誰も口に出す者はいない。

鹿島槍岳までの難所は八峰キレツトと鹿島槍岳南峰の最後の急登りである、キレツトでサポート隊二名と別れ鹿島槍岳の頂きへ、八峰キレツトは四十米ザイルで下降、九時五十分鹿島槍岳南峰に立つ、アタック隊三人皆感慨無量である。ここで記念写真、昼食をとり、北峰を往復して三時十分五竜岳に活用した事はいうまでもない。夜はサポート隊、キーパーと喜び合う。



第二キャンプよりの鹿島槍岳

◆二十五日、晴のち曇り、食当二時半、全員三時起床、朝食四時明るくなるのを待つて五時十分テントを飛び出す、モルゲンロートが実にすばらしい、五竜岳にはテントキーパー一人を残し、アタック隊三名、サポート隊二名はピッケルをにぎる手も心強く、軽い足取りで出発。目的の地、鹿島槍岳に続く稜線を思案にたどる、まだ薄暗い稜線にはアイゼンのキュッキュッという音だけが頭に強く響く、誰も口に出す者はいない。

鹿島槍岳までの難所は八峰キレツトと鹿島槍岳南峰の最後の急登りである、キレツトでサポート隊二名と別れ鹿島槍岳の頂きへ、八峰キレツトは四十米ザイルで下降、九時五十分鹿島槍岳南峰に立つ、アタック隊三人皆感慨無量である。ここで記念写真、昼食をとり、北峰を往復して三時十分五竜岳に活用した事はいうまでもない。夜はサポート隊、キーパーと喜び合う。

◆二十六日、吹雪時々晴間あり、天候があまり秀れず、山の二日をゆつくりテントで味わった、目の下から続く雲海、ポートでも出して、遠く富士山までも行けそうな錯覚さえしてくる。

◆二十七日、晴、五竜のテント撤収、鹿島槍岳、五竜岳を後にして唐松に向う、何か自分の山の様な気がして去り難い気持にさえなつていた、唐松のテントキーパー二人が加わつてひさしぶりに全員で夕食を共にした。

◆二十八日、曇り時々晴、唐松テント撤収全員ヒュッテに帰つた皆雪焼けしてたくましい限りである

◆二十九日—四月三日、スキー合宿、時間表を組んで規則正しく行つた、ヒュッテ周辺から第三ケルン辺りまでは絶好のスキー場、赤黄青のにぎやかな色彩のスキーヤー達に混つて、銀嶺に一本のシュプールを残して、右に左に雪面を余す所なく楽しんで春山合宿、無事終了した。

今年のヒュッテ使用団体

夏休みももう十数日、各クラブとも夏山の計画も立てその日を待ち望んでいる。今年のヒュッテの利用希望団体（山岳部に六月20日迄に申込を行つて使用現在申し込んでおるもの）を見ると

7月11・12日　女子部合宿
15・16日　化学研究部
17・18日　分析研究部
19・20日　女子部一般募集
23・24日　微生物研究部
植物研究部

8月2～6日　又、遇間交代で、助手の先生が行かれることになつている。

映画会のお知らせ

山岳部

山岳部では来る七月四日（土）午後五時より、千代田公会堂に於て、東薬ヒュッテ創立四周年を記念して、福原健司氏の作品による山岳映画の会を開催致します。皆様どうぞ御出席下さる事をお待ちしています。尚入場券は一枚七〇円で、山岳部々員が取扱っています。当日会場入口にも用意してあります。

三宅・八丈島へ

WV部合宿

ワンダーフォーゲル部では夏期合宿を七月十六～三十一日にわたつて三宅島及び八丈島に決定した文化部に所属するWV部では今回初めてワンデルングの他に調査を行う。調査は①飲料水水質検査、②島の厚生施設及びその状態③植物分布④産業風俗習慣⑤地理及び気象の広範囲にわたり、成果は後日発表される予定である。

雨の日の余話〝雨男達の茶会〟

五尺の尾のキツネあらわる

雨。小屋の中で一日ぼやりすごしてしまう。窓より外を見ても雨の降る音だけ、美しい山波は見えない。ああたいくつだ。ヒュッテに雨で閉じこめられたほどバカバカしいことはない。山日記にも雨をうらむ文字がいつぱい見える。

昭和三一年七月二四日の日誌：ある人がいいました「テルテル坊主をつくるとたら天照大神さまがお喜びになつて雨を止めてくれるでしよう」「それには女の人がいいでしよう」「いや神様は女だから坊主は男の人の方がいわ」と女の人。だが誰もテルテル坊主になる人がいませんでしたからとうとう一日中雨に降られゆるりと寝かさせて戴きました。

昭和三一年七月八日の日誌：既に二十四時間の豪雨で外は川となる。余りシャクにさわるので〝ススはき〟を行つて晴天を迎へんとす今日も手持ぶたさに〝茶を喫する〟会を計画す。昨日に変り〝純日本趣味を採る〟題して〝雨男達の茶会〟。（中略）見るものは同じ〝ツラ〟ばかり（中略）こうなると蒲池に住む〝キツネ〟が素晴しいベツピンに化けて出ないかと考える。全く〝ねずみ〟一匹も現われない有様だ。…

〝また来る時には笑つておくれ〟の歌調や〝よくよく降る雨だ〟の歌息型、明日は晴れてくれますように〟の淡い願望型など雨のもたらす悲喜劇が過去も未来も変わりそうにない。しかし雨の日でも結構楽しくすごしているらしい。また登山の途中で雨に会い全身ヌレネズミ組も多い。

昭和三一年九月二九日：午前中曇ガス深し、前日のビシヨ濡れの衣類を思い切つて外に干す。（中略）女性の声にあわてる。ベランダにサルマタまで干してあるので行き過ぎてかなわない。

〝雨の日は寝ていたい〟の歌調型。

昭和三一年七月二六日の日誌：

一、スペシヤルサラダ付コンビーフ
一、コンソメソープ
一、ウイスキーアンドビーチインシロツプ
一、フロマージユエ・ママレード
一、ラディツクスインソイレ
一、テ・アベック・ツツカー
一、アレツドオンコツプ　以上…

食欲が出るようならいいが、見るだけで嫌、まあ昨日の体力消もうを考えて食べたり食べたり。食後にはお茶を…

昭和三一年七月一四日：（前略）マツ茶に雪と、砂糖をまぜてくう。すばらしい風味がある。試みられたし。以下略…。

昭和三一年八月八日の日誌：連日喫茶開店のため寝不足

メニュー
一、ジユース（ウイスキ入りサンショウナの水浸液のミツクス）
一、梅酒（強力甘味付下剤ピサチン入り）その他…。

動物。山を訪れて偶然鳥や小動物を見つけておどろくことがある。

昭和三一年六月二一日：蒲池のところに「キツネ」が現われた（午前六時頃）尾の長さ約五尺、大工さん三名でキツネ狩りをするも見当らず…。又七月十四日の日誌にキツネの足跡らしいもの発見とある。

昭和三一年八月一一日：夕方小屋の入口あたりに蛇を発見追いかけるも途中で見失う。かなり太いやつだつた。夜外出てみると四つ足の動物を発見、最初犬かと思つたがどうやらキツネらしかつた。（以下略）

唐松小屋への道でよく雷鳥が見かけられる…

讃歌。訪れた山の素晴らしさ、ヒュッテの楽しい生活に青春はくいなし。山日記のところどころにそんな感じの文が多い。確かに山は雨に降られてもその登りが急でもう二度とくるまいと思つても又やつて来たい気がするものらしい。そこが山の魅力でもありその不思議でもある。

昭和三一年七月二四日：月と星の美しさを心のそこまで感じました。立ちこめてくる霧にポーツト消えてしまう小屋の前方の紫色の山なみは雲でまるで月世界の入江の様だつた…

ヒュッテ怪談

昨年の冬、遭難者があつて東薬ヒュッテにかつぎこまれたが、手当のかいもなく他界した。それ以後遭難者の横になつていた頭上の二階の真中の窓が、晩カギをかけて寝ても朝になると窓があいているとの話。昨年の夏心弱い御人をおびえさせたがなんともなく、そのまま忘れられてしまつた。

自家製のお菓子を
三原家
新宿区柏木4丁目

パン、洋菓子
おおもり
台東区谷中坂町二

お菓子のことなら
喜久月へ
台東区谷中町八番地

創業明治44年
ナガイの白衣
東京都千代田区神田三崎町1—1
国電水道橋下車、都電三崎町前
TEL（33）1224、2598

白衣作業衣は
合資会社 吉田義久商店
文京区根津八重垣町13
電話（82）3567、5757

米国・ローム・アンド・ハース社提携
新発売!!
サッと一吹…一年完全防虫!!
アメリカでも評判のパーセンは毛織物・高級衣服えシユツト一吹きでもう一年は絶対虫に喰わせない素晴しい噴霧式防虫加工剤……勿論布地や染料には何の影響もありません。衣服の他絨氈・毛製品・を完全に防虫します。
プラスチツク製スプレー付
（大）250円
（小）170円
スプレーなし補充用
150円
噴霧式防虫加工剤
エステー化学のパーセン